

バス・トス週報

鶴鳴

22

子殺し親泣かせ

いろいろな方面で世界に名を馳せてゐるのが日本であるが、貿易圧の大きいこと、医学の進んでること、どれをとっても一流だ。それと教育が異常に、子供を大学に入れたいはつかりに、中学や高校在学中から勉強日々とハッパをかけ、遂に子供をグロテスクにしてしまい、親に反抗するあまり、ファッカを振り廻し、脅された父兄が遂に先手に出でて子供の首を絞めて殺してしまったり、父子喧嘩で子にどづかれて二階からころげ落ち、肋骨を五本も折った父兄もあり、そうかと思うと、息子になぐられて怪我をする母とい、た話が毎日のように日本のどこかで起つていろという悲劇の連発に列つては、おそらく日本だけのもので、日本的なノイローゼではないだろうかといふ。

ブラジルにいてブラジルのことがよく判らぬというのも困り者だか、おそらく日系人の社会にも伯人の社会にもこうした聞くに堪えないような情報^{まぎ}先ずないと言つていいだろう。

近頃の雑誌から拾つた話だが、先ずわが子の首を絞られた話から始めよう。

東京のある食堂の経営者B氏の一人息子間成高校の二年生が急に暴れ出し、毎夜の如く親に打つてかかり、乱暴に堪えかねて、パートを呼んだり、病院につれていて診てもうつたりしたが、暴れまくりて手がつけられない。ある夜母にひどく乱暴して殺されかかった。息子が眠つてから父兄はヒモで首を絞め、遂に殺しきしまったというのである。

この話を新聞で知つた時、A家の主婦はおどろいて身ぶるいしたという。A家の主人は某会社の管理職で、家には長女の高校生と中学二年の長男の四人暮し、長男はおとなしい成績のよい子であつたが、ある日がわりと様子が変り、家の中であはれ廻り、とくに母親に乱暴した。不機嫌な顔をして学校から帰つて来たので、「どうかしたのかえ」というと「だまれ」、おめえなどの知つたことか。出て行け、顔を見るのもいやだ。食事もせず、学校にも行かぬので、父兄が叱ると、父の出社後、母にくつてかかり、髪を擗んで引き揚え「あやまれ」という。「土下座してあやまれ」と云う。さうすると、すごい

第1618号	昭和五十三年	五月二十九日	月旺日發行
Director	Koiti Mori	Redator	Shohō Miyatake
御旅館	プリマベーラ	御旅館	アデマルデバロスニビ一番地
日本料理	日本料理	日本料理	日本料理
バス・トス市ルアードアデマルデバロスニビ一番地	年木旺日は当店自慢のフェジョアーダ	年木旺日は当店自慢のフェジョアーダ	年木旺日は当店自慢のフェジョアーダ
BASTOS CEP. 17690 F.S.P.	お食事と御宿泊に	お食事と御宿泊に	お食事と御宿泊に
Annual Cr. 150.00 金前 Adiant.	御婚礼披露宴とそのおは出しお食事に	御婚礼披露宴とそのおは出しお食事に	御婚礼披露宴とそのおは出しお食事に

毎度ありがとうございます

お食事と御宿泊に
御婚礼披露宴とそのおは出しお食事に

日本料理とブラジル料理
バス・トス名物鰐料理

年木旺日は当店自慢のフェジョアーダ



HOTEL PRIMAVERA

Rua Pres. Vargas, 271, C. Post. 60, Fone. 92, S.P.

ホテル 森川
電 話 九二〇番
郵 函 六〇番

農林省公認苗木専門農園
並木用樹苗シビルトナの苗大小とも有
日本松赤松、黒松の苗、植木用、庭園
用の花木色々あります。
今流行のサマンバイア、蘭の新種色々

ツツジ、ツバキ、バラ、エクレン

ヒイラギ、モクセイ、サツキ、キリシマ

森元苗木本舗
電 話 二九番

力で母の顔を靴で蹴つて怪我をさせた、もうまるで狂人である。食事に母の息がかかる臭いといつて、母の顔にピントをくわせる。母が市場に賣物に行くので戸へ鍵をかけておくと、息子が帰つて来て家に入れないでの、怒つて母をめつた打ちにする。あまりのことで、父親が叱ると、「何を」とばかり父に体当たりでぶつかつて来る。とうとう父子格斗である。やつと相み伏せると父の手を噛み、家を飛び出してしまつた。こうしたことか半歳あまりつづく。Aさんは思ひあま

訂正とおわび

先週号の本紙に入植祭々典、委員のお名前を発表致しました処、製版の筋原稿を見誤つて記載して居りましたので訂正しておわび申し上げます。

第三書記
佐々木氏は認めて

眼科
手術
眼鏡
度測
専門

財務委員長 佐々木 稔氏と
訂正しておわび申上げます

週報社

まゝて少年問題相談所を訪ね、そこではじめて「家庭内暴力」という語をきいた。この家庭内暴力は、ここ十年位前から東京、大阪などの大都市とその周辺に起つてゐる問題で、A家だけに起つていろわけではない。中学生などの登校拒否と前後して起つてゐる一種の都會病であるという。A家の息子は治療にかかり、一年余で乱暴せぬようになり、元のようなおとなしい少年にかえつて今、大学生になつてゐる。A夫人は、あの頃のことと思い出すと身ぶるいして死ぬほどの思いだつたといふ。

この家庭内暴力は警視の少年暴力研究室、東京都児童相談センター、精神衛生センター、病院のカウンセラーやなどに持ち込まれて色々かわったケースがある。

A 東京の一中学生、自分以外の家族は皆不潔だと思つてゐる。便所を家族に使わせない。仕方がないので家族は隣家の便所を借りていたという。ある日母親と口争いとなり、いきなり顔を打つて来て、そのひょうしに指が母親の右眼に突込み失明させてしまつた。

B 関西の一高校生、ひどい乱暴をするので父親がこづいたところ、息子は石油ガソリンを持ち出し、家に火をつけてやる、そんな亂暴はよせ、そんなら庭に土下座してあやまれ、という。おやぢけ方なく荷広のまま土の上に坐り、数十回額を土につけてあやまる。息子は二ヤニヤ数をかきえていた。

「首都圏のある中学生、これは自分を「坊ちやま」
「健さん」と敬称で呼ばせろ。どうしないと、すぐく
乱暴する。」

東京の高校二年生・母親に乱暴するので父親が見かねて折檻せきかんをしたところ、この息子いきなり父へ体当たりをくわせた。父はエスカーダを踏みはずし、肋骨

〔「こめえ、父を殺す氣か、さあ殺してみろ。息子にやうみなぶち殺してやる」と口ぐせ。父親が外出先さきから帰つくると、台所からファッ刀を持ち出し置へます」と突刺す。〕



INSTITUTO DE OFTALMOLOGIA DE TUPÃ

Clinica e Cirurgia de Ohos

Prescição de Oculos e Lentes de Contato
Pua Carijos nº 278 - Tupã - Fone 2903

Dr. Isao Umino
Dr. Luiz Carlos Alves Negrão

Dr.
海

野

勲

ハスナル曰不ルベスネクノン
ツパン市 電話二九〇三二

合
目
加

卷之三

卷之二

父親の事件と、ほとんどそっくりではないか。
家庭内暴力というものの姿を辿^{たど}って行くと「殺人事
件」に結びつきそうな一致点があるようと思われる。
F 「小遣をもつとよこせ」といって暴れる高校生の話。

「電気やガスをむだにつかうな。おれの小遣いにまわ
の食事に文句をつけて来た。

何か気に入らないのか、息子はただあはれまわるの
である。

このように、しきしきのケリフがあるか、今一步みこんで、この都會病とでもいうべきぞたに筆を加えてみたい。そして家庭のあり方にも解れてみたいと思

週報俳壇 五月分

訪日だより

真木直水

水

宮崎マリア

わが家系長命なりし薬壠る
貧民に贈る古着や冬近し

拜啓 ブラジルでは朝々寒さを感じる頃と思ひます。
其の後御両家の皆様、バストスの皆々様にはお慶り
はありませんか、御伺い申し上げます。

薬壠る掌に沁み入りしにおい嗅ぐ
萱草きの山家一軒薬壠る

太郎田去年

アパートの隅より望む天高し
冬近し借る人の減る浜別荘

梶山双樹

明日東京に行き、海外系入大会に出席し、十五日
から北海道に行く予定でありますか、北海道はまだ大
分寒いとの事ですが、勇氣を出して行つて見ようと思
つて思ります。

五月八日

真木真水

○井柳や京の堀川端にげる雨
○竹林を色どるごとく数椿

○○若むして樹令千年秋高し
○○薬壠りに行きて死病を得て来しと

佐藤耕兩

○○マネキンのひと足早き更衣かな
○○ゆっくりと花の下行く車椅子
○○盆栽のなうふ窓辺に日脚伸ぶ
○○高空に雲雀の声する広野かな

マリリア川口樂團公演

いよいよ来る二十七日午後七時半

(土曜日) 場所 バストス綜合会館にて

入場無料 但し子供の入場お断り致します

撰りすぐった樂士と歌手總勢で

四十数名の豪華な演出に
御期待下さい

老人席は舞台に近い前の方、一般の方は

後方へお願ひ致します。

バストス明老会

バストス日伯文化協会

バストス市役所

太郎田みどり

薬壠る其の木葉まと噛んで見し
鼻薬効き御法度の薬壠る

佐々木南天子

堀り来る薬街路で売るニゲロ
熟れ荔枝野原の来て嗜り居り

鈴蛇の売れこ園ると薬壠る
好きで食う夢くう虫や苦瓜

「入植祭の演芸会に出著が不足するのか」

といつ週報の記事にお答え申す

先日週報紙上で「入植祭の演芸会に出著者が不足するのか」という記事がありましたが、色々誤解して居られる様なので演芸部より一語説明したいと思ひます。十五・六年前までの入植祭をふり返って見ますと、その頃の演芸会はお祭りの中心的な行事がありました。皆さんも記憶しておられると思いますが、子供達がお祭りの前日より演舞場前に集り、めいめいむじろ、パンノ等で場所を取っていたものであります。

舞台の方も時には二時、三時と、明らかでやつこじ

観客は帰らずに見てくれました。

近年の入植祭を見ますと、行事も色々と盛り沢山になつた

なり、演芸会の方も昔のようになど親や知人の出演によつて観客を引き留めるという事がむずかしいことは

事でしまう。特に時間がおそくなると、ますますむず

かしくなります。やはり素人演芸会といえども昔の様

なやり方では、観客を最後までとめこ置くことはむず

かしく、演芸会の内容の向上と進行の方法、観客に対する環境の改善等が必要ではないでしょうか。

演芸部としても毎年あの手、この手で新らしい試みをして居りますのは、皆様もよく御承知の事と思ひます。

今年は五十年祭でありますので、伏々文協理事でも

色々検討しまして、祭典を盛り上げるため、演芸会を

三日間としました。二日間を従来通りバストスの出演

者の為に、後の一日を外来のお客様と、バストス市民

に喜ばれる様にと、プロの舞踊団であります「花柳金

龍師一行を呼ぶ」とに決めました。これが今年の祭典

委員会の承認を得ました五十年祭の演芸の企画であります。

今年は五十年祭でありましたのは、「この事と思い

ますので、演芸部として、お答え致します。

記事中に祭典の予算をまだ使い、又知名氏の様故で

動かされたと有りますが、これは甚だしい誤解であります。我々演芸部としては、ひたすら祭典を盛り上げ

を中心として、踊り興味の有る方には参考に、又一般

の方には喜んでもらう為に企画した事であります。又

多額の費用かかる云々とありますか、全く門外漢の

意見としか思われません。たとえば、今年の演芸会プロ

グラムの中に例をとりますと、演劇研究会が芝居を

やりますか、支出予算は二万クルゼーロスであります

(内一万五千クルゼーロス祭典委員会補助)、素人の

芝居でもこれくらいの費用がかかります。

今年の五十周年の演芸会企画の責任はすべてバスト

ス文協演芸部に有ります。批判は演芸としていくつで

移転御挨拶

私儀一家は八年の長年月をバストスに住居させて頂き、

ブーフ製糸会社に奉職し、会社の従業員をはじめ、バストス

在住の皆様から親身も及ばぬ御親切にあまえ、何不自由なく

過させて戴き、此處を墳墓の地と想い定めて居りましたが

漸くブーフ製糸会社も定年に達し、這社のやむなきに列り、聖

市在住の子供の招きに応じ、子供の世話をなるべく聖市へ

移転する事になりました。

長年お世になりました皆様へ何等報恩も出来ぬまま去る

五月十九日バストスを出立致しました。出立に際しまして

は皆様より御親切なる御餞別、お見送りを戴き誠に有

難うございました。移転後も何平今迄通り御文詮を易かり

上聖の節は左記の住所へお立ち寄り下さいますよう御待致

ております。

出立に当り、バストスの繁栄と皆様の御健康を祈念し

て御禮と移転の御挨拶まで申し上げます

敬白

一九七九年五月十九日

Rua Oscar Freire n°1118

宗 像 正

Apto 3º andar n°33

Edificio Royal

Cerqueira César, São Paulo

Takenori Munakata

05409

ブーフ製糸会社並に従業員御一同様

バストス在住の皆々様

バス

トス

在住の皆々様

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

典

正

好

二

子

やくざ巡禮 五幕六場(1)

原作・脚本 真野四郎氏

この劇は元新国劇団の名優であつた真野氏の作で、本格的剣劇で、殺陣(立廻り)から演出まで自ら指導に当つてゐるので、他所では見られない芝居が予想されてゐる。研究会では只今猛稽古中である。

沼津の宿場で旅芸人の獅子舞が病死すると、旅鷦の渡世人、松井田の留八の親切な看護を謝し、子供の新吉を頼むと遺言した。傳奕打の渡世人であつても生れつき侠気心の強い留八は新吉わが子のように可愛かり、新吉もまた留八を親か兄のように慕つて離れず、留八も新吉手離すことが出来ず。新吉を連れて旅に出て追分宿の勝蔵親分の門口で仁義を切り、客分として食客となつたのは浅間の山麓の早稲田の稻穂が重くたれ、勝蔵分の前庭の柿が色づき、勝蔵のひとり娘のお美津の薙が聞き初めて、隣村の村祭の太鼓の音が響く頃であつた。

追分宿の八幡宮の大祭は豊年のせいで例年より人出が多く、境内にむしろ圓の賭場では丁半博愛で賑わっていた。小倉の前には「追分勝蔵寧錢勘定所」と達筆に書き立てあるが、実は境内の賭場の場割役である。布袋の徳兵衛親分の許可を得ずに良い場所を選んで賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りさせ、乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賭場を作り寺銭抜きしていたので、布袋親分一家と喧嘩となり、追分方は徳兵衛とその子分達を多勢殺しての責任を自分子分の卯太郎に肩代りをさせ乙に賽

Chegou que você precisava

AUTO ELETTRICA LTDA

Especialista em motores de partida, geradores alternadores, serviço em geral do seu carros ou tratores — Vendas de Bateria
Direção de

HAGUI ET LIMA LTDA

Rua 10 de Novembro, 541, Fone; 267, Est. S. Paulo.

諸君の要望に応えて御当地バストスにて開店致して居ります。

自動車及び、トラトールの始動モーター、発電機の修理と部品一切、
その外自動の電気機器類一切取扱って居ります。

バッテリー(アクムラドール)の充電並びに新品販売いたします。

萩リーマ共營商會

バストス市 ルア 10 デノベンブロ 五四一番地

電話二六七番 バストス産業組合前

売り住宅
相川忠明
御希望の方は電話四三六番
敷地 リビングメートル、奥行四十メートル
家屋 リビングメートル、台所、浴室、ガラジ
その他に寝室あり
小池方まで御連絡下さい

もようになつた。留八を雇ものは勝蔵だけではなく、
一の子分、辰三も、お美津が自分を嫌うのは留八か
居るからだと、叶わぬ恋の逆恨みから、あること、無
い事を親分に告げ口をして、親分の勝蔵が留八への憎
悪を煽導した。その上お美津に向つて、
「お美津さん、あなたにも親分から話があつたと思
うが、親分は俺しに跡を継がして總張りをそつくり譲
りと男らしい優しさにひかれ、ひそかに恋慕つてい
た。

勝蔵親分は卯太郎を旅に出したのは、彼の留守中に
彼の女房お澄を口説き落して自分後添にしようと謀つ
ての計画であったが、留八はその事を知り、兄弟分卯
太郎のため、お澄をかばつていたので勝蔵は留八を憎
つた。

勝蔵親分は卯太郎を旅に出したのは、彼の留守中に
彼の女房お澄を口説き落して自分後添にしようと謀つ
ての計画であったが、留八はその事を知り、兄弟分卯
太郎のため、お澄をかばつていたので勝蔵は留八を憎
つた。

て事は、又別な話ですよ」と、きつぱり振られた腹いせに辰三はお澄と留八が姦通をしてしる如き告げ出をしたので勝蔵は留八に以後お澄の家への出入を差し止めた。

その頃新吉はお澄の家へ遊びに行き、お澄から菓子などのご馳走になつていた。日も暮れ台に留八は新吉を迎えて居る處へ門口から勝蔵が入つ来て二人の姿を見て娘唄のため逆上して、

「留八、貴様此處へ来らなと言つておいた筈だ、それにその態あ何だ。てり何時からお澄の亭主になつた。此廻あ、このえの家か」と悪口雜言の末抜刀して留八に斬りかかつた。留八も是非なく抜刀して勝蔵の刀勢を防せいでいる内に誤って勝蔵を斬り殺してしまつた。お澄は留八にとりすかり、

「留さん……これからどうする」

「どうもなるものか、人間一人叩き斬つた俺ア今からぬ状持だ。ままよ三度笠、股旅かけて長げえ草鞋をけくまでさ」

「それじや一っそ、私も一しおに……」

「連れて行け、と云いなさるか、いや、そりやおられえ」「いいえ、是非とも……」留八は思案ののち、

「一人残して万一間違ひでもあつた時は、卯太郎に消

まねえ。だと言つても……」

「留さん、新坊を連れて三人連れで……」

「……よしッ。他人が見たら仲のいい親子夫婦と見るだろうか」

「……何と見られようと私はかまいませんが、留さん」

「エー云う奴には勝手に云わせておけ」

「それでは留さん……」

「そうと決まれば、追手のかからぬ内、一時も早う」

新吉が、「小父さん、何所へ行くの」といふかるのに、

「何廻と言つても足の向くまま、氣の向くままよ、長

げえ旅に、旅立つのは。サアお澄さん、は度をしな

せえ」「はい」

こうして三人は人目をのがれて旅へ立つたが、女と

子供連れで道ははからず、追分宿の外れの並樹には

はや勝蔵の子分達が多勢先き廻りをして三人を待ち伏

せていた。留八らの三人の姿を見ろや勝蔵一の子分の

辰三らが三人を取り囲み、てんぐに得物を振りかざし、

「やい待て、不義者の松井田の留八、親分の仇た観

念しろッ、ソレッ」と打ちかか、て来る奴を留八は死闘

のま彼らを追いのけく三人手を取り合つ街道をひた

走りに逃げる途中、合羽に三一度笠、素足へ草鞋に長ド

スを落し差しの一見して渡世人判る男とすれ違つたが

お澄も気付かず、顔をかくして通り過ぎてしまつた。

後姿を見送つて卯太郎は、不審相に停すんでいたが、氣を取り直したように足を早めて並木路を通り過ぎ

寫眞館開業お知らせ

Foto Moderno
Rua Pres. Vargas 435, Fone: 232, Bastos

天然色撮影・結婚記念写真・
寫真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

出張撮影・フィルム現像・焼付及び
引伸し等。

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

出張撮影・フィルム現像・焼付及び
引伸し等。

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

福士市ルア・プレシデンテ・バルガス 三四五
電話二三二番

フオトモデルノ

梶田アントニオ忠
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

天然色撮影・結婚記念写真・
写真材料、ブルム、白黒、コロリード
宣教御引立御鞭撻の程を御
願い致します

</div

「お澄を留八か……あ留八か……」

「それで、あとを追うて来んだが、とうとう逃げられてしまふた」、伊太郎は今来た道を振り返り、「ふむ……そうか、では今そこでそれ違うたのが留八とお澄だったのか……」と思索しながら「あの留八がお澄だと……俺には眞実とは思われねえ！」が、親分の葬いはすんだから……何まだか、では一先ず帰り、皆と相談の上俺あ又旅に出よう。が、俺お信じられねえ！」

以下次号へ

力マラ・ムニシ・バル デ・バストス

インデカソン № 34 78

右掲のような表示の葡文印刷物を日本語に翻訳して週報に掲載しこくれと依頼されたのであるが、内容がいたって簡単そに思えるが、決定事項の報告とか、通知文ならばよしが、それでもないのと、太郎田衛氏、浅川はる江女史、石川ドットルと持ち廻り、翻訳を依頼したが、内容がデリケートであるため、此の翻訳は専門の公認翻訳人に依頼すべきもので、吾々はたとえ翻訳しても、それに対する責任はもてない、といふことで、是非なく一応力マラの方へお返ししたのである。

然に暫くして市会議長の森重氏かの電話で、文の責任は、その文章に署名してある五名のベレアドールがたが、考えて見ると、原文の責け力マラにあつても訳文の責任は、やはり翻訳者にふりかかつて来るのであるが、責任問題はともかく、何處かへ迷惑をかけるようになつては申訳ないと想うので、今此辺に記載する文は、翻訳ではなく、市会議員の方々の意中だけを抜粋したものであることをお断りして置く。

バストス郡 市議会

表示（指示？）第三四号 七八年

農業、特に養鶏農はわが郡バストスの経済をささぐる重要産業であり、この発展がバストス郡のみに止まらず、州、ひいてはブラジルの貢献になつていることと自負し、益々繁栄を希つて止まないものであります。

この産業を支持し發展へ導く機関として活躍しているのが農村シンジカットであり、その農村シンジカットの仕事場、事業前の建設こそ目下の急務であると信じ、吾か市会ではシンジカット事務所建設用地を市役所より分譲されるように請願していることを表示致す次等であります。

一九七八年五月二十二日
下段右へづく

以上は、原文を翻訳したものでないことをお断わりいたします。

白花 田 沢 太
カルロス ショーリ ヴエロネジ
ワルデミロ オラボ ペレイラ
市村佐智子

勝南

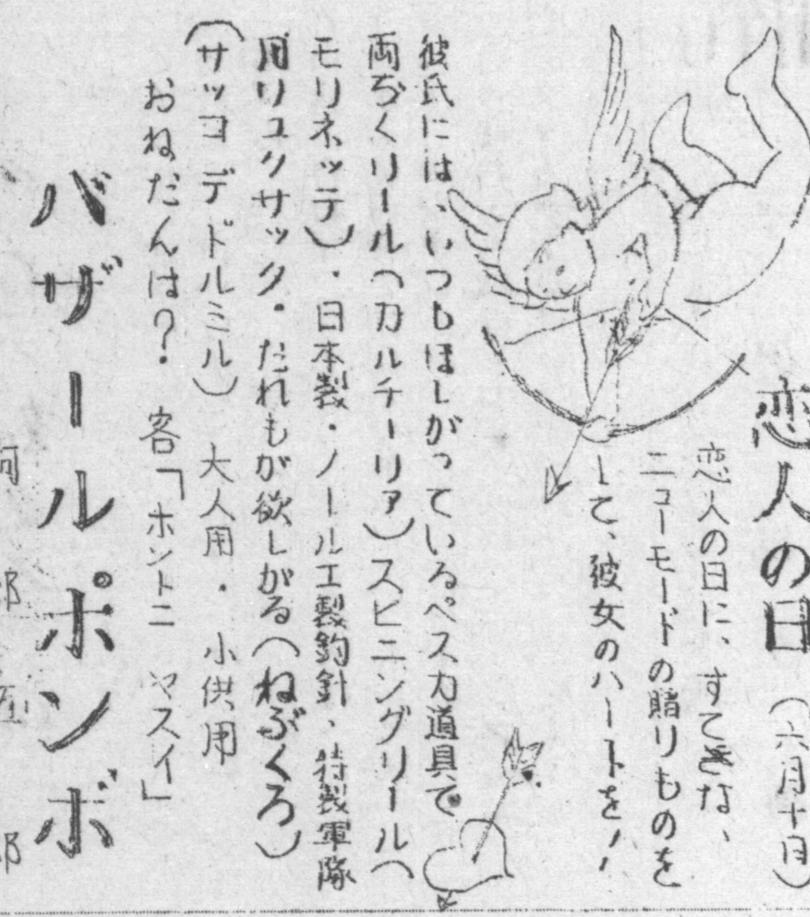
Organização Social de Luto ARegional DE HELENA SATIKO ICHIMURA

Rua Adhemar de Barros -295, Fone: 351, Bastos SP.
Residencia no Local. Faça Bastos crescer prestigionado seu
comercio agora sobre direção novo proprietário aparecendo
do ribeiro HELENA SATIKO ICHIMURA, Artigo Funeraria -
tais como: Cruz, HOIHA, ossenka, Velas, Umbando com general
coroas, em geral - e etc...
Agradecemos para preferencia
Atende-se dia e noite também pelo INPS, Rural.
市村佐智子

葬具店フネラリアサンペードロ

後藤さんのガブリンポストの向側で営業中。当店では普通の葬具店の備品の外に十字架、お位牌、線香、ロースク、切花、花輪などの仏式に心要品を一切取り揃えて奉仕致して居ります。尚昼夜受付で居りますから、電話で御用命下さい。

ルア アデナル デ バーロス 295 電話 361番



連載小説

2

バターン死の行進

故火野葦平氏著

その他のひしい音が兵長の眠りを誘つた眞の原因かも知れない。ともかく歩哨は眠つていた。木の木にいた枝を一ぱいひろげていろ一本の樹の根本で、槍剣し、装填した銃を抱いたまま、兵長は前後不覚であつた。どの位時間が経つたか、歩哨は奇妙な音に仰天して眼をさました。反射的に飛びあがつて銃剣をかまえた。

「誰か」

と、習慣的に、その声が出た。眠つていても警戒心を失つていけない兵隊の感覚の中に、ひびいて来たのはコレコンという、厚い金属板を指で叩くような鉗い音だった。それから、風か雨かか波かのような騒音である。しかし、覚醒した瞬間には、兵長はその音の正体を知ることができなかつた。

月の光の中で飛びあがつたのは歩哨だけではなかつた。もう一人、異様な人物が、歩哨とは一間と離れていない場所で跳躍したと思うと、提灯をたたむように地面へへたりこんでいた。腰か抜けたらしく草を鳴らしてふるえだした。

兵長はぎよっとして、二三歩下つた。樹の蔭に入り月光剣を突きつけ、怪しい男を凝視した。明るい月光の中で、事態は明瞭だ。俊敏な兵長は、瞬間に一切諒解した。

へたばつて、へこぺこ頭を下げ、しきりに胸に十字を切つてゐるのは、一人の若いフイリッピン人である。帽子もかぶらず、靴もはいていない。長髪が頭を上げさせするたびになびくが、夜目にもその男がうすぐたやすく、ひとく憔悴していろことが看取された。兵長は、フイリッピン人の九割が基督教徒で、そのまた九割がカトリックであるという知識などもおぼうげに持つてゐた。唐突に出現したこのフイリッピン人か、恐怖のあまり十字を切つて神に祈つていろ姿も不思議とは思わなかつた。さうに、彼は寛厚な理解を持つていた。フイリッピン人がなにをしていたかを、正確に判断したのである。兵長が立哨していた場所にあつた樹木は、カソイである。バターンのシャングルの中に、点々とあらこの樹には、斬築形をした黄色い実が生る。大きなふくれた方の部分から、豆に似た灰色の種子のようほものか飛び出している。尖端は大きいかゆであるけれども、そちらには味がなく、種のようだ。部分がピーナツのようでおいしい。兵長は、彼の部隊にいたのである。兵長が立哨していた場所にあつた樹木は、カソイである。バターンのシャングルの中に、点々とあらこの樹には、斬築形をした黄色い実が生る。すぶつて果実をふり落し、食べたこともある。そんなにおいしいとも思わなかつた。

ある夫婦の会話

「おじいさん、今度娘とこに孫が産まれる」と、バツくん祝いに何を贈つとよ

「おじいさん、今度娘とこに孫が産まれる」とよ、バツくん祝いに何を贈つとよ

「おじいさん、今度娘とこに孫が産まれる」とよ、バツくん祝いに何を贈つとよ

「おじいさん、今度娘とこに孫が産まれる」とよ、バツくん祝いに何を贈つとよ

FABRICA de GRANITO

Av. Rio Branco 9^a C. Post. 23, Fone, 21.1390
ADAMANTINA S.P.

日本式及 ブラジル式
墓 碑 記 念 碑
石 像 石 燈 龍
胸 墓 石 燈 龍
白 も ち 白

石 竹彫刻類 一切製作

古い墓の修理も致します

アダマンチーナ市リオ ブランコ 大通り



オブライナ
アドメカニカ

皆様お待ちかねであつたボルクスワーケン車並びにコルセル車専門オブライナを御当地バスストに特設開業して皆様の御便宣をおこなつて居ります。

優秀なメカニクが最高技術を駆使して皆様の愛車を完全修理と調整で最高性能を發揮することをしよう。しかし修理費の安価、迅速丁寧さて皆様方から大変好評を頂いております。

アドメカニカ
オブライナ
バススト

電話 一五六番

Auto Mecanica BASCAR LTDA

Rua Adhemar de Barros - 295. Fone 156 Bastos Est. S. Paulo

Agora em Bastos há uma oficina que você esperava com mecânica especializada com VOLKSWAGEN e CORCORÉ retífica de motores com assistência técnica preço modico. Auto Mecanica BASCAR LTDA que você esperava um Auto Mecanica

Agradecemos Preferencia

癌だと知った時は既に手遅れで死を来します

恐ろしい癌の予防に
マグネットライザーを使いましょう



快い気分で使用出来るこの
マグネットライサーを使いましょう

是非一家一台マグネットライサーを備えましまよ
危険性、副作用、習慣性は全くありません
家庭の電線から簡単に使用できます。
ピリピリとした不快感は全くありません

バストスロードビアリオ前
バストス特約店

ノーバ・ザ・ブル・森・重

ところが今そのカソイの実をフイリッピン人か取りに來こしるのである。彼は敵戦線の方からタリサイ川を渡つて来たものにちがいない。日本軍側には住民は居ないか、敵線の中には、無数の避難民がまぎれこんでいた。戦火に追われて止むなく入りこんだ者もあり、バタアンに入れば安全だというアメリカ軍の宣伝に誘われて、逃げ込んだ者もあつた。しかも、彼らのほとんどは山の中の藪や砲倉に隠れて、食う物もなく飢餓に瀕していた。或る者は軍隊の使役となり、第一線で弾丸運びや塹壕掘りをさせられていたが、給与の悪さは兵隊以下であつた。戦斗員である兵隊がお粥をすすり、微発して來た瓶を、鉄兜の中でついているほどであるから、住民に食糧が欠乏して行きわたるわけがない。いったん降伏して來たフイリッピン兵が、日本軍の方にも食糧が欠乏していることを知つて、また脱走した事件があつた。要するに、バタアン半島は今や貧窮世界であつたのである。

空腹に耐えかねたフイリッピン人は、冒険をおかしく、深夜にまぎれて、両軍の境界線を突破し、カソイの実を取りに來た。木に登る気力もないので、衰弱した腕に渾身の力をこめて、カソイの幹をゆすぶつた。カソイの実は割合に簡単に落ちる。降つてくる果実を拾つて、かつかつと食べた。彼は日本の兵隊がすぐ前に眠りこけていることに気がつかなかつた。つづく

尋ね人

お願い

昭和十六年（一九四一年）頃までバストスに在住されたら

しい「寺尾政子さん（五十四歳）妹雪子さん（五〇歳、毛利よしはる（五十一歳）さんを御存じの方は誠に恐れ入りますが、バストスP.L.教会まで御連絡下されば幸甚になります。

提

榮

吉

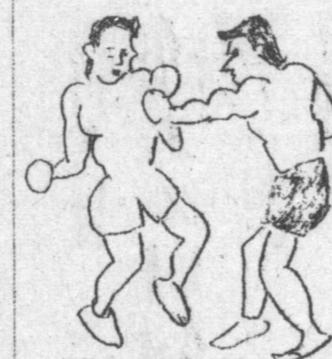
サロンドユーリア
ルア 10 テノベンブロ 五ヒ四番地
坂 東 洋 子
電話 一 一六 番

おしゃらせ

私儀、研習生として日本へ出發する六月十五日まで、美容院の営業を続けますので
今迄通り御愛顧をお願い申上げます。

ARTEGRAFICAS "GRAFISUL LTDA"

Rua Pres. Vargas - 353 - Bastos - S.P.
Antigo Predio Banco América do Sul
Atendemos pelo telefone - 281 e 282
Impressos - Notas Fiscais
Notas produtoras
Cartão de visita
Comvite de Casamento
Fichas de controle e
Qualquer tipo de Impressos



開業に当り印刷機並びに活字等一切新品を取り揃えましたので、印刷の鮮明さと仕上りの美しさは皆様に御満足頂けるものと自信して居ります。安価迅速、丁寧 親切をモットーとして居ります。待引立を願います
電話で御用命下さい。電話二八一番と二八二番

美術印刷所 開業御通知

元南米銀行の建物で営業して居ります。
ノッタフィスカールの印刷
農産物出荷伝票の印刷
訪問用の各種名刺印刷
結婚式の案内状の印刷
その他印刷一切

高級印刷グラフィスール

HOTEL USAMI

Rua Pres. Vargas, Fone. 022, Bastos S



ホテル・アド・ビアリオ

詩旅館つどみ

電 話 二 二 番

NOSSA RELOJOARIA

TAKKAMI SHIBATA Rua Adhemar de Barros 375, Fone 154 Bastos SP.



宝石、中ひわ、銀器最高級の
陶磁器 いつまでも記念になる
時計と計算器はいかが

バストス市 アデマル デ ハーロス 三七五番地
レロージョアリア タカミ

柴田時計店

電話一五四采

六月十日は

恋人の日向を贈ります

^{トモラーグ} 恋人の日に何をプレゼントなさい
ますか。

彼氏に最も喜ばれるものは？
彼女に似合うアツセツソリオは？

プレゼンテ用晶を色々と取り揃え
てありますから、どうぞ見に来て

Three small, detailed illustrations of snakes coiled around a central, circular object, possibly a jewel or a small pot. The snakes have distinct patterns on their bodies and are shown in various poses of coiling.

宝石、ゆびわ、銀器

陶磁器 いつまでも記念になる
時計と計算器はいかが

ストラウス市アデマルデハーロス三七五番地
レロージョアリアタカミ

柴田時計店

柴田時音庄

柴田時計店

Curso de Cine Bastos

二十八日(日)九時半 監督瀬川昌治
こんどの口ヶ地は南紀協力大地町・湯川温泉、湯峰温泉
松竹十八番の旅行シリーズ 喜劇の大作、
つひろ浮び出た、そりやあんまりだ、
九時半 臨督 山根成文。原作 里野滿智子
浅田美代子 北沢 栄 森田 健作 野川由美子
志垣太郎 志摩みづえ 北浦明義
村野武範 石原百合子 冲 雅也
島津恵子 田島令子
九時半 監督 蝶村芳太郎
森田 健作 加藤大介
佐藤蛾次郎 柚原る美 大塚道子 宍戸 鍵
年でも、16歳から24歳までを演じる女優浅田美代子の誕生日、
九時半 原作清水行、監督 松村保造 渥 美清
田宮一郎 小村聰 宍戸千重子
堀芽依子 近藤洋介 神山繁
小沢栄太郎 関根恵子
近藤正臣 加藤嘉
日(月)九時半 監督 出目昌伸 桂小金治 博
山添多佳子 小泉珍
四方晴美 団命子